

令和7年度 武庫川女子大学 社会情報学部自己点検・評価結果

武庫川女子大学社会情報学部自己点検・評価委員会において、「武庫川女子大学社会情報学部 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（応用基礎レベル）」に関する自己点検・評価を実施した。

日 時： 令和8年 3月31日（火）16:00～16:30

場 所： ZOOMによる開催

出席者： 運営委員長 奥村紀之、学部長 鯨坂恒夫 学科長 大森いさみ 幹事教授 関浩之
運営委員 庄野宏

【点検内容】

プログラム対象科目のシラバス、プログラム対象科目の履修・成績状況、授業アンケート結果等

1. プログラムの評価（総括）

プログラムとして修得すべき6科目のうち、今年度は6科目すべてが開講された。統計学IおよびAI演習の合格率が8割、他の科目が9割以上となっており、数学がやや苦手である傾向と、応用プログラムの難しさが表出したものと考えている。数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）に関する全ての科目が開講されたため、次年度以降は特に数学に関するサポートを強化し、プログラミング力の向上を目指したい。また、次年度が本学部の完成年度であることから、年度末における詳細な分析で習熟度を評価していきたい。

2. 令和7年度プログラム対象科目の履修・修得状況について

プログラムとしては現在進行中の状況であり、令和6年度に開講されたプログラム対象科目5科目に加え、令和7年度は1科目が開講された。各科目の履修・修得状況は以下の通りである。ただし、対象は社会情報学部の1、2、3年生に限定する。

令和7年度の履修・修得状況

科目名	履修者数	合格者数	S (≥90点)	A (≥80点)	B (≥70点)	C (≥60点)	不合格者数 (不合格+評価不可)	合格率
AI 入門	186	177	25	65	53	34	9(2+7)	95%
統計学I	181	147	26	48	33	40	34(27+7)	81%
プログラミング演習I	179	165	21	47	58	39	14(12+2)	92%
AI 概論	152	149	0	36	74	39	3(1+2)	98%
データサイエンス基礎演習	158	148	7	65	44	32	10(4+6)	93%
AI 演習	63	52	20	14	11	7	11(3+8)	82%

(※参考：令和6年度の履修・修得状況)

科目名	履修者数	合格者数	S (≥90点)	A (≥80点)	B (≥70点)	C (≥60点)	不合格者数 (不合格+評価不可)	合格率
AI 入門	196	182	40	59	64	19	14(11+3)	93%
統計学 I	176	174	0	96	39	39	2(0+2)	99%
プログラミング演習 I	167	127	50	20	30	27	40(28+12)	76%
AI 概論	138	133	27	62	36	8	5(3+2)	96%
データサイエンス基礎演習	152	143	8	64	41	30	9(5+4)	94%
AI 演習	30	29	15	6	6	2	1(0+1)	97%

統計学 I については、令和6年度の評価において S の学生がいないことに対し、令和7年度は S の学生の数が増加しているにもかかわらず合格率が大幅に低下している。数学的な力の上位下位の差が大きく開いてしまっている可能性が示唆される。また、今年度初めて開講した AI 演習については、令和6年度は本プログラム対象外の学生向けに開講されているため参考に網掛けとしている。AI 演習は、評価不可が多く合格率が低く算出されているため、評価不可を除けば9割以上の合格率となる。受講開始段階で諦めてしまう学生がいたため、離脱させないようにする工夫が必要であると考え。令和6年度の問題であったプログラミング演習 I の合格率については令和7年度は大きく改善しており、授業時間外も含めサポート体制を整えてきた成果と考えている。なお、統計学 I については情報メディア専攻よりも情報サイエンス専攻の方が良好な成績となっている。1年限りであるが統計学入門が開講されるため、基礎力の底上げを狙いたい。

3. 令和7年度授業アンケート結果

上記6科目に対し、以下の質問項目でアンケートを実施した。

- A 問1) : 授業が進むペースはちょうど良かったですか？
- B 問2) : 授業内容がよく理解できるように工夫・配慮されていましたか？
- C 問3) : 質疑応答や意見交換等の機会が設定されていましたか？
- D 問4) : 話し方や言葉遣いはわかりやすかったですか？
- E 問5) : 教科書や資料、教材等はわかりやすく、授業の理解に役立ちましたか？
- F 問6) : 課題や提出物等に対するフィードバックはありましたか？
- G 問7) : 主体的に学ぶための工夫がされていましたか？
- H 問8) : あなたは授業の目的や目標について理解して学びましたか？
- I 問9) : あなたは授業の内容をよく理解できましたか？
- J 問10) : 新しい知識やスキルを学べましたか？
- K 問11) : 学んだ内容についてさらに深く学びたいと思いましたか？
- L 問12) : 予習・復習等に平均して週あたりどのくらい学修しましたか？ (授業外での友人同士の意見交換等も含む)

科目名	回答者数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
A 入門	16	3.8	3.8	3.9	4.2	3.6	3.6	4.0	3.8	3.4	4.0	3.4	2.6
A 入門	9	4.2	4.2	4.1	4.1	4.2	4.1	3.9	4.0	3.8	4.0	3.9	3.0

科目名	回答者数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
統計学 I	9	2.4	2.4	2.6	2.8	2.6	3.3	2.9	2.9	2.4	3.3	2.4	4.0
統計学 I	9	3.2	3.4	3.8	3.6	3.6	4.0	3.9	3.7	3.0	3.8	3.1	3.9
統計学 I	5	2.0	2.0	2.4	2.6	2.0	2.6	2.0	2.4	2.0	2.3	2.3	3.8
統計学 I	19	3.3	3.2	2.5	3.1	3.2	2.9	3.3	3.5	3.0	3.5	3.1	2.4

科目名	回答者数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
プログラミング演習 I	1	5.0	5.0	5.0	4.0	4.0	4.0	5.0	4.0	5.0	4.0	5.0	5.0
プログラミング演習 I	1	4.0	5.0	5.0	5.0	4.0	5.0	5.0	3.0	3.0	5.0	4.0	4.0
プログラミング演習 I	4	4.3	4.0	4.5	4.7	4.0	4.5	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.3
プログラミング演習 I	10	3.6	3.5	4.0	3.6	3.4	4.0	3.6	3.5	3.5	4.0	4.0	3.4

科目名	回答者数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
A 概論	1	3.0	2.0	4.0	4.0	2.0	4.0	4.0	4.0	2.0	4.0	2.0	3.0
A 概論	9	3.8	3.4	3.8	3.7	3.3	3.8	3.7	3.6	3.1	3.6	3.3	2.3

科目名	回答者数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
データサイエンス基礎演習	1	3.0	3.0	3.0	1.0	2.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0
データサイエンス基礎演習	1	2.0	4.0	5.0	2.0	3.0	5.0	5.0	5.0	4.0	5.0	5.0	2.0
データサイエンス基礎演習	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
データサイエンス基礎演習	22	3.1	3.1	2.7	3.0	3.2	3.6	3.5	3.3	2.9	3.5	3.0	3.4

科目名	回答者数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
A I 演習	4	3.3	3.3	3.8	3.8	3.8	4.0	3.8	3.8	2.0	4.3	3.0	3.8
A I 演習	2	4.0	4.5	3.0	4.5	4.0	4.0	4.5	4.0	3.5	4.5	3.5	3.0

各科目は 2 クラス、または 4 クラスに分かれて実施しているため、クラスごとのアンケート結果を示す。全体として学生の回答数が少なく、アンケートの統計としては不十分ではあるものの、統計学 I、データサイエンス基礎演習についてはやや難易度が高く感じているように思われる。特に統計学 I については合格率も他の科目に比べて低いため、数学的なサポートを必要としているように思われる。今年度初めて開講された AI 演習については、離脱率こそ高かったものの、履修者の理解度は一定程度確保されていると思われる。

4. 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨

学生アンケートによるとどうしても数学系の科目に対する苦手意識が浮き彫りになってしまう。したがって、授業におけるサポートや授業時間外の対応も含めて、理解が不十分な場合の対応を考えつつ、学生に周知する必要があると思われる。昨今では生成 AI を活用した学習も可能になってきているため、NotebookLM のようなツールを活用した新しい学習方法の提示も必要ではないかと考えられる。

5. 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

次年度完成年度を迎えるに当たって、応用基礎レベルの初めての修了者が輩出される。4 年間の学びを可視化し、応用基礎レベルの習得度合い、カリキュラムの適切さを評価し、適宜見直しを行っていく必要があるだろう。

以 上